



# コスモスだより

【ニューストピックス】

整形外科

脱ロコモティブ症候群 Part 1

## 「人工関節」で 痛みなく歩ける喜びを



【部署通信】

地域医療連携室より

医療施設の役割分担と連携で

地域の医療を地域で守り地域で育てる

【お知らせ】

手術体験プログラム

フランク・ジャックセミナーレポート

第46回 市立貝塚病院 市民公開講座

第4回 市立貝塚病院 リハビリ公開講座

開業医紹介コーナーのお知らせ

症例カンファレンス参加のご案内

### 病院の理念 基本方針

#### 地域住民を守る良質な医療の提供

1. 医療を通じ患者さんの喜びが自らの喜びになるような職業人をめざします。
2. 常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3. 患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4. 地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。

整形外科

脱ロコモティブ症候群 Part 1

「人工関節」で痛みなく歩ける喜びを

【ロコモティブ症候群（シンドローム）：運動器症候群】という言葉をご存知ですか？

【ロコモ】とも略されますが、「運動器の障害」により「要介護になるリスクの高い状態」になることです。「運動器の障害」には、変形性関節症・骨粗しょう症・脊柱管狭窄症・関節リウマチや、筋力低下・運動速度の低下・バランス能力低下などがあり、多くは整形外科が取り扱う疾患です。

ロコモティブ症候群は、「寝たきり」や「要介護」の主な原因のひとつ。健康に生活できる期間「健康寿命」を少しでも長くするために、「運動器の障害」となる疾患を予防し、出来るだけ早く治療を始めることがとても重要です。

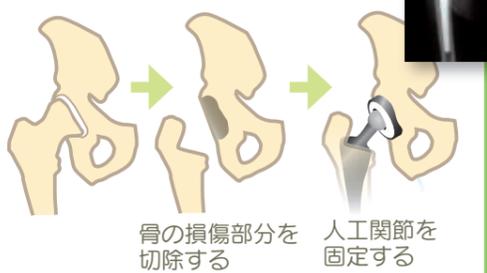
今回は、「運動器の障害」の改善方法の一つである「人工関節」をご紹介します。

「人工関節置換術」について

「人工関節置換術」とは

怪我や疾患により、傷んだり変形した関節の表面を取り除いて、人工関節に置き換える手術です。痛みを取り除くこと、関節の機能再建を目的として行います。

人工股関節置換手術



人工膝関節置換手術



人工膝関節置換術には、全体を人工関節に置き換える「全置換術」と、膝関節の傷んでいる部分だけを人工関節に置き換える「片側置換術」があります。



人工関節手術の適応

- 保存的な治療方法では、痛みの改善が見られなかった場合
- 痛みのために、日常生活に支障をきたしている場合
- 関節が動かしにくくなり、日常生活に支障をきたしている場合

人工関節置換術を行う主な疾患

変形性膝関節症

加齢とともに軟骨と軟骨の下の方が徐々にすり減り、炎症を起こして痛みが出ます。女性に多く見られ、原因の一つは肥満です。

関節リウマチ

免疫に異常をきたし、自分の体を攻撃してしまう「自己免疫疾患」の一つです。全身のさまざまな関節に炎症を起こし、腫れや痛みが出ます。全身がだるい、微熱が続くなどの症状もあらわれます。

■ 当院の「人工関節置換術」について

当院の人工関節置換術の特徴

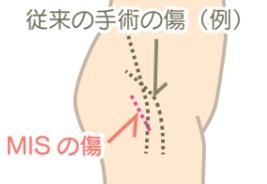
■ 膝・股関節の人工関節置換術と適切なリハビリテーションを実施

専門医による、膝・股関節の最先端の人工関節置換術を行っています。また、リハビリテーション科と協力しながら、早期の復帰に向けて、患者さんお一人おひとりに合わせたリハビリを行っています。



■ 最小侵襲手術 (MIS) による、痛みが少なく回復の早い手術を実施

「最小侵襲手術」とは、皮膚や筋肉の切開をできるだけ最小限にとどめて手術を行う方法。傷が小さいため痛みを軽減することができ、リハビリの早期開始や早期退院に繋がります。切開部分が小さいため視野が狭く、高度な技術を要求される手術法でもあります。



■ 「自己血輸血」による合併症の軽減

人工関節置換術は輸血が発生する可能性が高いため、自分の血液を事前に採血し、必要時に輸血する「自己血輸血」を行っています。他人の血の輸血（同種血輸血）では、感染や輸血後移植片対宿主病、免疫低下などの副作用が出る可能性があり、自己血輸血ではそうした合併症を軽減することができます。



！ 「人工関節は65歳まで待ってから」の常識が変わる！？

■ 人工関節の寿命の目安が20～30年に

「人工関節」の寿命はこれまで10～15年と言われてきました。人工関節入れ替え手術は、一回目の手術に比べて難しくなります。そのため、65歳以上であれば入れ替え手術の可能性が低いとして「人工関節は65歳を待ってから」と言われてきました。しかし、近年は材質も性能もどんどん向上して、人工関節の寿命は20～30年と考えられており、人工関節置換術の適応年齢の考え方が変わってきています。

■ 積極的に活動できる年代をより楽しむ

65歳まで待つとなると、活発に活動できた時期に痛みを我慢したり、運動を控えたりしなければなりません。人工関節の寿命が延び手術適応年齢が低下したことで、日常生活はもちろん、軽い運動なども楽しめるようになったことは朗報と言えるでしょう。



◆ 「歩く」ことは健康の基本、「歳だから仕方がない」と諦めたり我慢したりせず、是非一度相談してください。



日本は世界一の長寿国となりました。しかし重要なのは、自立して自分らしく生活できる「健康寿命」ではないでしょうか。

健康であるためには、運動意欲や運動能力を低下させないこと、しっかりと動ける体を保つことです。とは言っても、年を重ねることで体のあちこちに支障が出てくるもの。「関節の痛み」もその一つです。ご高齢の方の中には、我慢強かったり「歳だから仕方がない」と、接骨院やサプリメントに頼ってなかなか整形外科にかからない方もいらっしゃいます。

しかし悪化すれば、運動量が減って筋力が落ち、ちょっとしたことで怪我をしたり、寝たきり状態にも・・・また、治療の選択肢も狭めてしまいます。

「痛み」を抑える薬も随分と進歩し、副作用が少なく効果の高いものが開発されています。「人工関節」や負担の少ない手術法もあります。気になる「痛み」があれば、我慢せずまずは受診してください。

## 地域医療連携室より 医療施設の役割分担と連携で 地域の医療を地域で守り地域で育てる——

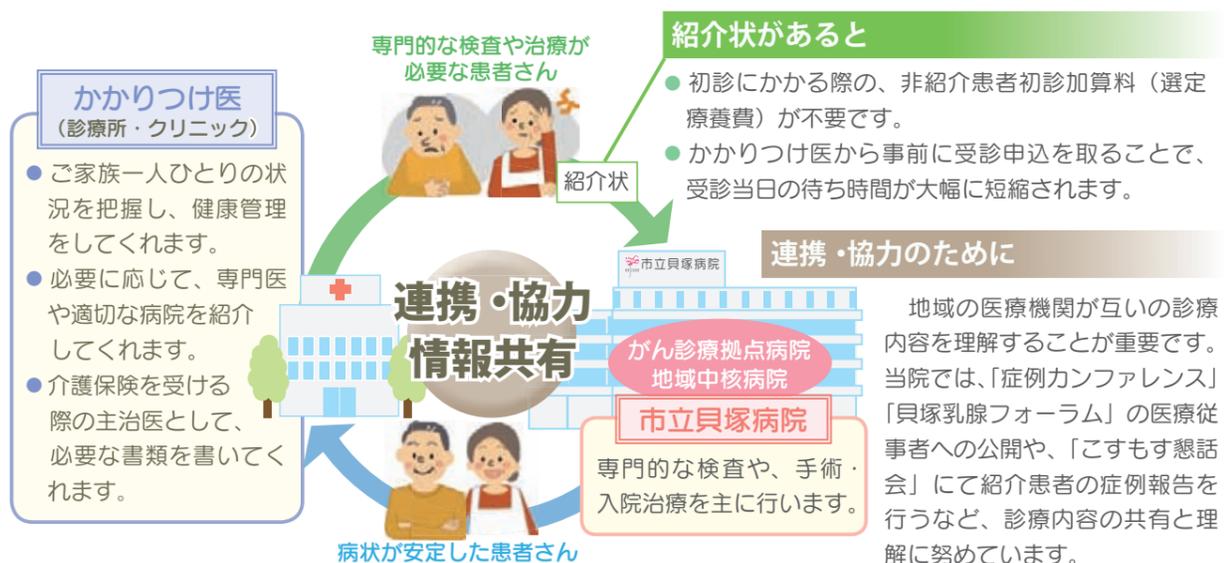
医療技術は日々進歩し、高い医療技術・専門知識のある人材や高度な医療機器が求められるようになりました。また、諸外国に例をみないスピードで高齢化が進行しており、医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれています。

しかし、医師や看護師不足、患者さんが高度医療機関へ集中するなど、適切な医療サービスを提供する上での様々な問題が起こっています。医療資源（人・機器など）を効率的に活用しながら、「患者さんが必要な時に、必要な医療を受けていただく」ためには、医療機関それぞれの役割を明確にし、個々の医療機関ではなく地域全体で分担しながら診療する体制を作らなければなりません。

今回は、地域全体の医療連携を円滑にするための2つの取り組み「かかりつけ医制度」と「なすびんネット」をご紹介します。

### 地域医療の円滑な役割分担のために **かかりつけ医制度**

「かかりつけ医」は、日常生活に密着した診療や初期治療を行い、気軽に健康管理も相談できる身近なお医者さんです。「かかりつけ医」が高度な診療、検査等が必要と判断した患者さんには、検査・治療が可能な施設へ紹介状を出し、患者さんを引き継ぎます。病状が回復すれば、連携をはかりながら、日常の診療は「かかりつけ医」が行うことになります。長年にわたり健康管理をすることで、いつもと違う身体の変調も的確に診察できますので、信頼できる「かかりつけ医」を是非持ってください。



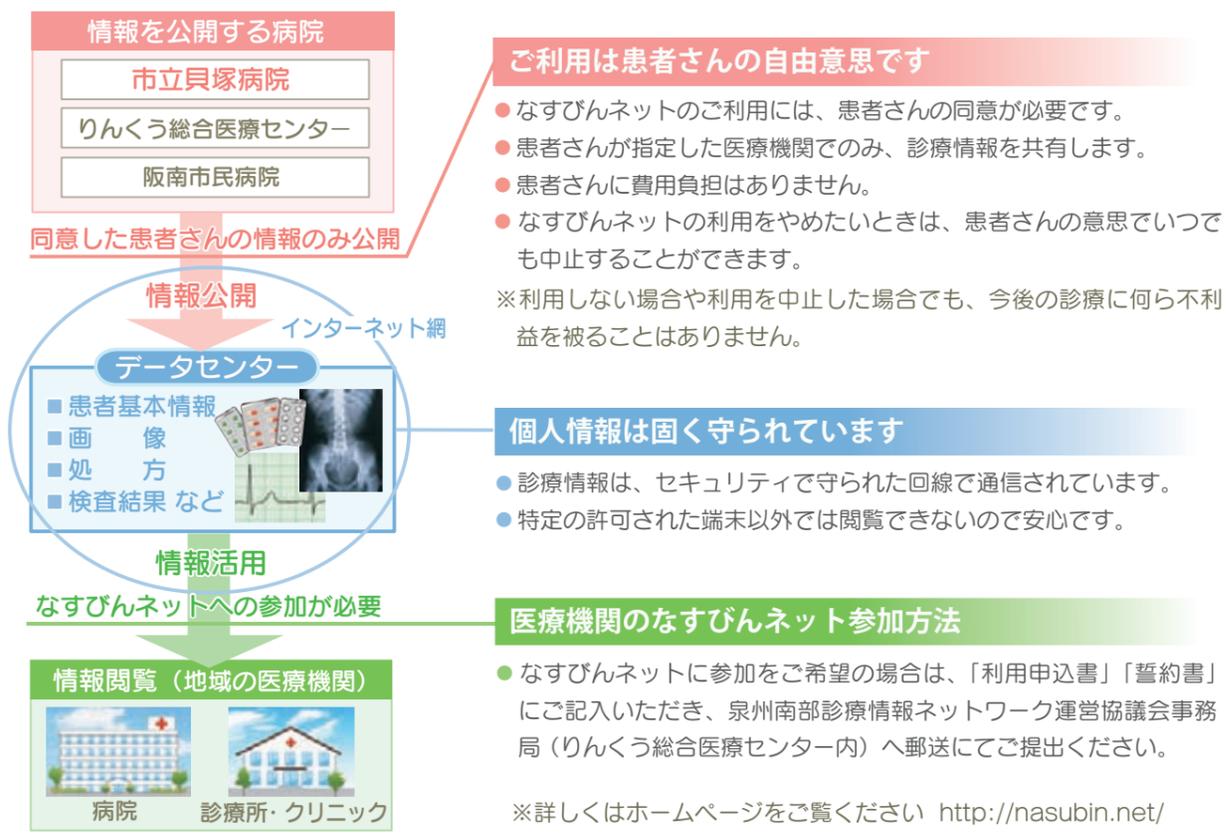
## 泉州南部診療情報ネットワーク **なすびんネット**



泉州南部地域の医療機関が、平成26年4月よりスタート  
患者さんの同意のもと診療情報を共有することで  
診療に役立てるネットワークシステムです

= 受診する医療機関が変わっても、切れ目のない継続した医療を =

- ポイント1** 医療機関が診療情報を共有しているので安心  
既往歴や過去に受けた検査結果を詳しく説明できない場合も安心して診療を受けられます。
- ポイント2** 無駄な検査や薬を無くして医療費軽減  
診療情報を共有することで、連携する医療機関での重複処方や検査の重複を防ぐことができます。
- ポイント3** 情報共有で医療機関のコミュニケーション向上  
それぞれの医療施設で同時に患者さんの情報共有ができることで、コミュニケーションが円滑になり、切れ目のない貫いた医療が行えます。  
また、診療情報を共有することで、薬の飲み合わせトラブルなどを防ぐことにもつながります。
- ポイント4** 診療連携を強化し、より質の高い診療へ  
情報共有と病院、診療所間の診療連携を強化し、地域全体でよりスピーディーで、より質の高い診療へとつなげていきます。



**ご利用は患者さんの自由意思です**

- なすびんネットのご利用には、患者さんの同意が必要です。
- 患者さんが指定した医療機関でのみ、診療情報を共有します。
- 患者さんに費用負担はありません。
- なすびんネットの利用をやめたいときは、患者さんの意思でいつでも中止することができます。

※利用しない場合や利用を中止した場合でも、今後の診療に何ら不利益を被ることはありません。

**個人情報 は 固く 守られています**

- 診療情報は、セキュリティで守られた回線で通信されています。
- 特定の許可された端末以外では閲覧できないので安心です。

**医療機関のなすびんネット参加方法**

- なすびんネットに参加をご希望の場合は、「利用申込書」「誓約書」にご記入いただき、泉州南部診療情報ネットワーク運営協議会事務局（りんくう総合医療センター内）へ郵送にてご提出ください。

※詳しくはホームページをご覧ください <http://nasubin.net/>

2014年11月16日(日) 10:30~15:00 開催

# 手術体験プログラム ブラック・ジャック セミナー

これからの社会と医療を支える若者(地域の高校生)を対象に、医師への道を「夢」から「目標」へ繋げてもらおうと、地域社会貢献活動の一環として、手術体験プログラムを開催しました。

レポート

今回参加したのは、40名を超える応募者の中から抽選で選ばれた24名の高校生。「将来医療関係の仕事に就きたい」または「進路の一つとして考えている」という医療への関心の高い学生さんが集まりました。

指導スタッフとして、市立貝塚病院の医師や看護師のほか、りんくう総合医療センターの医師なども集まり、実際に医師が使うトレーニング機器なども使用しながら手術技術を体験。昼食時には歓談の中で医療現場の話や聞くなど医療を知るための充実したプログラムでした。アンケートでも21名が「期待以上」、3名が「期待通り」と、心に残る体験になったようです。

テレビ朝日  
「スーパー」チャンネルで  
放送されました!!



朝日放送からの取材申し込みがあり  
当日11/16(日)の夕方に放送されました。

実際の手術着を着て手術室に入っの体験!

ガウン  
着衣

清潔を保ちながらのガウンと手袋の装着には細心の注意が必要。触れてはいけない部分は看護師さんの手助けで着衣。「あ、そこは触っちゃいけないよ」

手術  
縫合

「上だけ縫ってはダメ。切開部がしっかり合わさるように、下まで針を入れて・・・」ピンセットで針をつまんで引き出すのも、手術独特の糸の結び方も難しい〜

内視鏡  
トレーニング

内視鏡は、モニター画面を見ながら手術を行う器具。「手元は体の中だから見えないよ(笑)。モニターだけ見て左右どちらの手も使ってね」器用に扱う学生さんもいて感嘆の声も。

電気  
メス

電気メスやレーザーメスなどを使って、鶏肉や豚肉の切開を体験。焼き切る感覚に驚きの声と、用途の違いや費用の違いなど細かな質問もありました。

自動  
吻合器

自動吻合器は、腸などの筒状の臓器を自動でつなぎ合わせる大型ホッチキスのような器具。金属針が体内に残ると聞いて、身体への影響などの質問が。使われるチタン針の値段の高さにもビックリ!

声

吻合器で腸や胃をくっつけるという技術があることに感動しました。腹腔鏡の体験もして、これから父の命を助けるために、と思いました。そのような場でしっかりと体験できたことを幸運にも思います。

声

オペ着を着ると、オペ室に入るときには、(帽子)等がかなり細心の注意が払われていると改めて実感した。縫合体験が上手いって、一番楽しかったぞ。昼休みの時、先生や看護師さんと話す機会があったことあって、たぶんのこと聞いてよかったぞ。

声

医療の職に就きたり自分にとって、その体験はまるで夢のようでした。言葉では表わせないほどの感動の連続でした。今回の体験は、新院スタッフの方々が身をつめてくれたチャンスであり、今後、自分の志す職に就きたいと再確認させてくれた場でした。本当にありがとうございました!! (自分は医師になりたい)

声

超音波メスとかメス系にすごい文明の利器を感じました。針で縫うのとかやけど自動吻合器はやっぱりすごい便利だと思いました。ガウンを着ると、他の物についたらあかぬかぬはすごい難しかったです。あんなのも無いかなって思いました。今更外科医は嫌やな〜思いましたが、ちょっと興味を持ちました。参加して良かったです!!

## 第46回 市立貝塚病院 市民公開講座

【テーマ】骨粗しょう症と骨折  
【日時】1月19日(月)  
13:30~15:00  
【講師】整形外科副部長 林 淳一郎



平成27年  
1月19日  
(月)

## 第4回 市立貝塚病院 リハビリ公開講座

【テーマ】転倒予防と住環境  
【日時】2月25日(水)  
13:30~14:30  
【講師】理学療法士 隅田 陽子



平成27年  
2月25日  
(水)

公開講座

【場所】市立貝塚病院  
7階講義室  
【費用】無料  
(定員70名 要予約)  
【申込・お問い合わせ】  
地域医療連携室  
☎072-422-5865  
(内線:236)  
※1階総合案内でも受け付けております

## 開業医紹介コーナーのお知らせ

市内の医療機関を中心に、開業医紹介のパンフレットを1階「地域医療連携コーナー」にて設置しておりますので是非ご利用ください。医療機関のパンフレットの設置希望も承っております。



【申込・お問い合わせ】  
地域医療連携室  
☎072-422-5865  
(内線:236)

## 症例カンファレンス参加のご案内 (対象:医師・医療従事者)

内科/月曜日(毎週)	16:00~17:00	産婦人科/火曜日(毎週)	17:00~18:00
外科/火曜日(毎週)	14:00~15:00	泌尿器科/火曜日(毎週)	7:00~9:00
整形外科/水曜日(毎週)	17:00~18:00	木曜日(毎週)	17:00~18:30
小児科/木曜日(毎週)	8:00~9:00	貝塚乳腺フォーラム/金曜日(月1回)	18:00~21:00

## 地域連携ニュース